

札幌市緑の基本計画の改定にかかる 緑の基本計画部会の中間報告について

札幌市緑の審議会より付託されました札幌市緑の基本計画の改定について、これまでの審議結果を資料 7「中間報告書」にまとめましたので、ご報告いたします。

なお、中間報告書の主な考え方については以下のとおりです。

現計画の基本理念「実現しようみんなの手で 人とみどりが輝くさっぽろ」を踏襲する。

現計画に、協働によるみどりづくりと地球環境問題への対応を強化するとともに、効率的な維持管理の観点を追加した計画とする。

より多くの担い手がみどりにかかわる活動に参加・参画するために、新たに活動事例をもとに「協働の取組みの指針」を明記するなど、190万人市民一人ひとりの活動の道しるべとなる計画とする。

計画の見直し年次を、概ね平成 32 年（10 年後）とする。

“みどりとみどりをつなぐ”、“みどりと人をつなぐ”、“人と人をつなぐ”に共通する『つなぐ』を計画推進のキーワードとする。

審議会で議論した 5 つのみどりの将来像の重なりを整理して 4 つにまとめる。また、4 つのみどりの将来像に対応する推進プログラムの 4 つの柱を「市民などとの協働の推進」、「街中のみどりの創出とネットワークづくり」、「街をとりまくみどりの保全・活用とネットワークづくり」、「公園の魅力の向上」として策定する。

推進プログラム柱 1「市民などとの協働の推進」は、この計画の基礎となるものであり、他の 3 つの柱を包括する。

推進プログラムの柱ごとに 3 のプログラムとプログラムごとに対応する施策の方向性を策定する。

計画を確実に推進するために、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Act)の PDCA サイクルで進行管理を行うとともに、プログラムごとの指標や施策の方向性ごとの評価期間を設定する。また、第 3 者機関の評価など協働による進行管理を明記する。

平成 21 年（2009 年）12 月 22 日

緑の基本計画部会

部会長 吉 田 恵 介